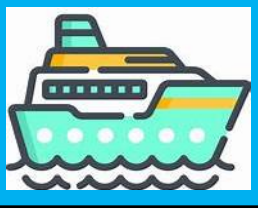
令和８年度　つかわき便り

令和８年６月１日発行

ゆうらくせん 遊楽船６月号



施設長　福永政和

初夏の候、皆様お元気でお過ごしでしょうか。

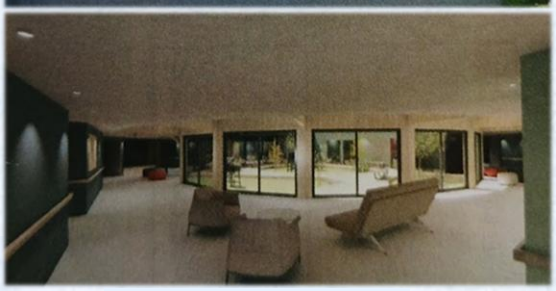
さて、先月 14 日（日）、利用者さんの居室増築工事の地鎮祭を執り行いました。ご承知の通り、地鎮祭は土地の神様に工事の安全と建物の繁栄を祈願する儀式です。設計監理者の（株）東条設計代表取締役社長折田様はじめ施工を担っていただく（株）ダイサン代表取締役永田様、私たちの施設の関係者、職員を含め２３名の出席をいただき厳粛に執り行うことができました。私にとって永年の悲願でもあったこの増築工事がようやくスタートラインに立ったかと思うと、大変有難く、身の引き締まる思いです。創設者であり初代理事長でもあった亡き父の後継者として、その思いを引き継ぎながらも、時代の流れに順応すべく発展させていくための増設でもあります。

『ここはお家、私たちは家族』、単なる「施設」という枠組みを超えて、利用者のお一人お一人の暮らしが尊重される「家の集合体」として捉えたコンセプトとして設計していただいています。小さな生活単位で構成される６棟のユニットの中心には円形の中庭、その周囲にみんながゆったりとくつろげるデイコーナーを設ける計画です。個室としての一人の空間と共用部の緩やかな繋がりによって、個の尊重と家族的なくつろぎを求めたものです。

特に、私がこだわったのは、それぞれにカラーを持たせたカラフルな色彩の棟と中庭の円い形です。利用者の皆さんと職員、地域の方々、関係者の皆さんが互いに尊重し合い、家族同様に円満に繋がり、大きな愛の輪となって広がって欲しいとの願いを込めています。これこそが、これからの施設経営の根幹であると信じています。

運動会や秋祭り、健康つくりなど永く活用してきたグラウンドが無くなることに、もちろん寂しさもありますが、この土地に宿る神様が、新たな役割を果たす建物に大きな恵みをもたらしてくれますようにと祈願することでした。

また、父と同じく創設者である母にも出席してもらいました。３５年の年月を経て、杉林を伐採して整地した広大な風景に驚き、こうして新たな居室の増築の地鎮祭に元気で出席できたこと、何より久しぶりの利用者の皆さんの元気な姿を見られたことに感無量の思いだったのでしょう。涙ぐみながら喜んでいる姿がありました。少しは親孝行にもなったのかなと私自身も更に感慨深く幸せな一日となりました。



完成のイメージ

この儀式を経て、工事が本格的にスタートします。完成までの間、家族会をはじめ関係者の皆様にはなるべくご迷惑をかけることの無いよう配慮しておりますが、工事車両等との離合する場合などもあると思われます。来訪の際には、十分気をつけられますようお願いいたします。

与論島の旅（２班　５月１０日～１３日）

５月１０日から１３日の３泊４日、２班５名の利用者の皆さんは与論島への旅行を楽しんできました。日本のハワイとも称され、天国のような幻の砂浜で有名な与論島は、さすがにエメラルドの海を見ているだけでも心が癒されます。グラスボートからウミガメを見て感激、本土とは違う真っ白な砂浜の風景はまるで別世界です。

また、鍾乳洞、歴史民族資料館、与論駅などを訪ねました。潮の満ち引きのタイミングで現れる百合ケ浜は残念ながら見ることはできませんでしたが、それでも日常を忘れ、ゆったりと流れる時間を楽しみました。ホテルでも海を眺めながら、ビリヤードやジャグジーなどを楽しみ、与論島ならではの満喫の旅となりました。

縄文の森春祭り（５月３日～５日）

GW 中に毎年開催される縄文の森春祭りへ今年も出店しました。初日、２日目はあいにくの天気でしたが、最終日は好天。それでもつかわきのパンは完売、お客様と触れ合いながら販売を頑張りました。また、地元中高生の吹奏楽やダンス、縄文の森ならではの火おこし体験などのイベントも楽しませていただきました。

障害者スポーツ大会　金メダル獲得

５月１０日（日）、鹿児島市鴨池陸上競技場で開催された県障害者スポーツ大会フリスビーの部へ中崎一博さんが出場し、金メダルを獲得しました。

フリスビー競技は今年で２年目の出場、７m先の輪を通すアキュラシーという競技と距離を競うディスタンスという２種目への出場です。練習の成果もあって、アキュラシー競技ではなんと１０投中パーフェクトにクリアし、場内を沸かせました。ディスタンス種目では銀メダルを獲得。昨年以上の結果に満足な一日となりました。当日は真夏のような日差し、フリスビー協会や多くの学生ボランティアの方々に支えられてのこうした大会に参加できることに有難さも感じました。

陶芸班　県美展示入選

第７２回県美展、ハートフルの部に出品した陶芸班３名（中崎一博さん、横手 洋さん、堀切淳一さん）の作品が入選となりました。おめでとうございます。この展示会へ向けて頑張って取り組んできましたので、今年も入選できてとても嬉しそうに、また、ほっとした様子でした。

５月１９日、会場となっている鹿児島市美術館へ出かけ、多くの作品も鑑賞してきました。これを励みにこれからも楽しく取り組んでいただきたいと思います。

不審者対応訓練（５月１１日）

派出所の警察官の指導をいただきながら、不審者への対応訓練を実施しました。いざという時、利用者の安全を最優先に確保するために、毎年、この時期に行っている大切な訓練です。様々な状況を想定しながら、さすまたをはじめ身近にある道具を使っての効果的な活用方法や、避難や連絡などについても改めて学びました。

厳粛に地鎮祭を執り行いました

冒頭触れましたが、５月２４日（日）に執り行った地鎮祭の様子です。「島津雨」という言葉がありますが、雨が降ることを吉兆とみなす鹿児島ならではの文化です。島津氏の初代忠久公が雨の中で生まれたという伝説に由来しているようです。ちょうど祭事前は雨でしたが、次第に晴れ間が広がり、まさに吉の兆しともいえる祭事となりました。

施設長のお母様も参加、利用者の皆さんも久しぶりの再会に大喜びでした。いつまでもお元気でいてくださいね。

なでしこ班外出（５月２１日）

５月２１日（木）なでしこ班は久しぶりの外出、霧島方面へドライブし、昼食や温泉を楽しんできました。

本来なら、利用者の希望した鹿屋バラ園へ出かける予定でしたが、雨で変更。それでも久しぶりのお出かけに皆さん大喜びでした。温泉もバリアフリーとあって、ゆったりと入って気分上々。皆さん、とてもリラックスされて嬉しそうでした。

自治会主催の誕生会

Happy Birthday

５月生まれの利用者さんの誕生会を５月３１日（日）に開催しました。

５月生まれは、木佐木チヅ子さん、甑 明弘さん、永田修一さん、鮫島のぞみさんの４人です。永田さんはめでたく二十歳の誕生日を迎えましたので、皆さんで盛大にお祝いしました。おめでとうございます。プレゼントを手に皆さん笑顔でとても嬉しそうにされていました。益々お元気で。